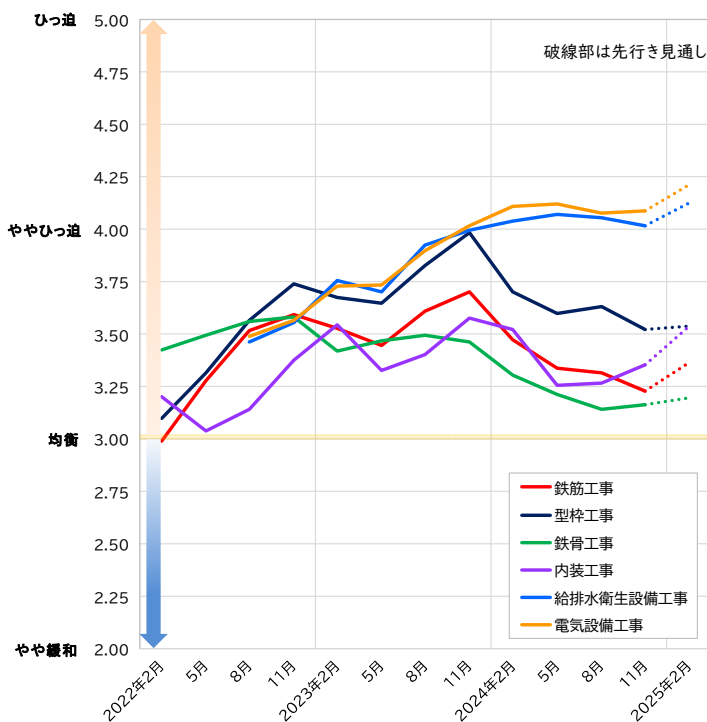


# 労務需給調査 工種・職種別の概況

建築・設備工事は電気設備工事・給排水衛生設備工事でひっ迫感強まる見通し  
～土木工事関係職種は交通誘導員の不足感が高まる～

## 建築・設備工事関係工種の労務需給の推移(全国)



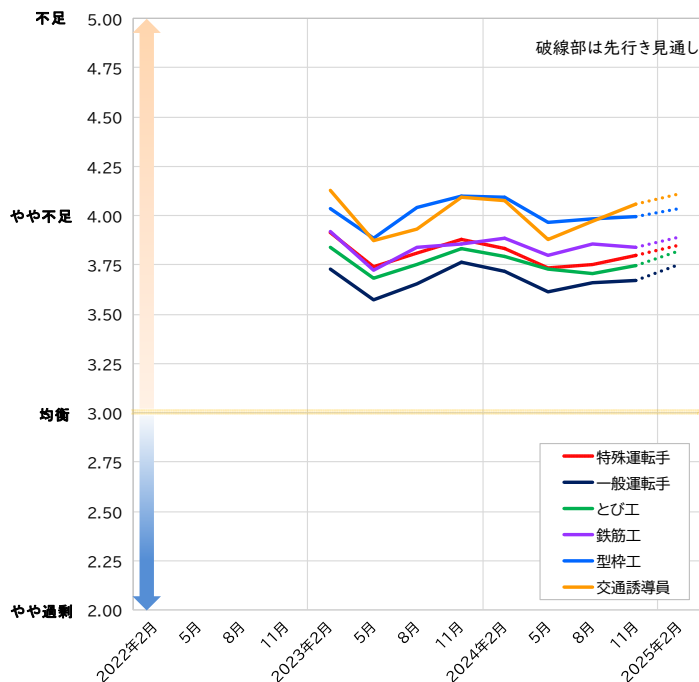
### 労務需給状況の概要

全国平均では全体的にひっ迫傾向にある。建築工事の「現況」では内装工事、鉄骨工事が前回に比べひっ迫傾向がやや強まっている。設備工事の「現況」はひっ迫度合いが強い状況が継続し、緩む気配が見られない。「先行き」は建築・設備工種とも概ねひっ迫度合いが強まると見られている。

調査年月	鉄筋工事	型枠工事	鉄骨工事	内装工事	給排水衛生設備工事	電気設備工事	
2022年	2月	2.99	3.10	3.42	3.20		
	5月	3.28	3.32	3.50	3.04		
	8月	3.52	3.56	3.56	3.14	3.46	3.49
	11月	3.59	3.74	3.58	3.37	3.55	3.57
2023年	2月	3.53	3.67	3.42	3.55	3.76	3.73
	5月	3.45	3.65	3.47	3.33	3.70	3.74
	8月	3.61	3.83	3.49	3.40	3.92	3.90
	11月	3.70	3.99	3.46	3.58	4.00	4.02
2024年	2月	3.47	3.70	3.31	3.53	4.04	4.11
	5月	3.34	3.60	3.21	3.26	4.07	4.12
	8月	3.31	3.63	3.14	3.27	4.05	4.08
	11月	3.23	3.52	3.17	3.35	4.02	4.09
2025年 2月	3.37	3.54	3.20	3.54	4.13	4.21	

※給排水衛生設備工事、電気設備工事は2022年8月より調査開始  
※調査方法：所定の項目に対して、回答者が次の5段階で評価、判断して回答する  
[ 5段階評価 1:緩和 2:やや緩和 3:均衡 4:ややひっ迫 5:ひっ迫 ]  
※2025年2月は先行き見通しを示す。

## 土木工事関係職種の労務需給の推移(全国)



### 労務需給状況の概要

全国平均では、「現況」「先行き」とともに12職種全てで「やや不足」となった。「現況」を地区別にみると、大多数で「やや不足」が占めた。札幌では、2回連続で型枠工・交通誘導員が「不足」となった。「先行き」は、交通誘導員が10地区中5地区で「不足」となっており、他の職種と比較して不足感が強い。

調査年月	特殊運転手	一般運転手	とび工	鉄筋工	型枠工	交通誘導員	
2023年	2月	3.91	3.73	3.84	3.92	4.04	4.13
	5月	3.74	3.57	3.68	3.72	3.89	3.87
	8月	3.81	3.65	3.75	3.84	4.04	3.93
	11月	3.88	3.76	3.83	3.85	4.10	4.09
2024年	2月	3.83	3.72	3.79	3.89	4.09	4.07
	5月	3.73	3.61	3.73	3.80	3.97	3.88
	8月	3.75	3.66	3.71	3.85	3.98	3.97
	11月	3.80	3.67	3.75	3.84	3.99	4.06
2025年 2月	3.85	3.75	3.82	3.89	4.04	4.11	

※2023年2月より調査開始  
※調査方法：所定の項目に対して、回答者が次の5段階で評価、判断して回答する  
[ 5段階評価 1:過剰 2:やや過剰 3:均衡 4:やや不足 5:不足 ]  
※2025年2月は先行き見通しを示す。

建築施工単価、土木施工単価の発刊に合わせ、年4回工事業者を対象に実施する「労務需給アンケート」の詳細結果については、当会ホームページの『けんせつPlaza』(<https://www.kensetsu-plaza.com/questionnaire>)をご参照ください。



### お問い合わせ先



#### 一般財団法人 経済調査会

建築・設備工事関係：建築統括部

土木工事関係：研究成果普及部

☎03-5777-8217

✉jukyu@zai-keicho.or.jp

☎03-5777-8212

✉roumujukyu@zai-keicho.or.jp